

ていたのではないかと思います。もっとも、国際会議における質問の少なさは、港空研の研究者に限ったことではなく、理系、文系を問わず日本人全体に言えることと思いますが。

論文とは異なり、国際会議で活発に質問したことが、個人の評価、ひいては組織の評価に直接反映されるわけではありません。しかしながら、港空研からの発言が多くなれば、港空研のプレゼンス（存在感）、さらには日本の存在感を、多少なりとも高めることができ、そのことが、微々たる力でしょうが、例えば、日本の基準の国際基準への採用に役立ったり、パッケージ型インフラの海外展開に役立つかも知れません。どのように役立つかは、うまく表現することはできませんし、役立つレベルまで持っていくのは簡単なことではないでしょうが。

そこまで大仰に考えなくとも、せっかく長時間かけて外国へ行くわけですから、日頃会う機会の少ない外国の研究者達と活発に意見交換ができるような研究者が少しでも増えてくれることを願っています。

◇PARI◇=====

2. 港空研の新パンフレット「業務概要」を発行

=====◇PARI◇

港空研の業務概要を掲載したパンフレットを発行しました。第三期中期目標期間における研究内容の概要、実験施設の紹介、研究成果の活用状況などをコンパクトに整理しました。

<http://www.pari.go.jp/event/publicity/pamphlet.html>

◇PARI◇=====

3. 平成 24 年度 第一回海岸工学特別講演会を 9 月 10 日（月）に開催

=====◇PARI◇

「平成 24 年度 第一回海岸工学特別講演会」が、下記の要領で開催されます。

- ・日時：平成 24 年 9 月 10 日（月）15:30～17:05
- ・場所：独立行政法人 港湾空港技術研究所 1 階大会議室
- ・内容：特別講演「海岸保全施設の老朽化と防災機能に関する諸問題」
名古屋大学 名誉教授 岩田好一郎

申し込みは下記の URL から受け付けております。締め切りは 9 月 5 日

(水)です。(定員になり次第締め切ります。)

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2012/20120910.html>

◇PARI◇=====

4. 平成24年度 港湾空港技術講演会を9月28日(金)に開催

=====◇PARI◇

「平成24年度 港湾空港技術講演会」が、平成24年9月28日(金)に都内で開催されます。今回の講演会では、土田元港湾技術研究所所長、および磯部教授(東京大学)から特別講演をいただくとともに、港空研および国総研の研究者からの発表を行います。

なお、詳細なプログラム、申し込みの案内等については、追って港空研ホームページにてご案内します。(9月上旬予定)

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2012/20120719.html>

◇PARI◇=====

5. 報告：国際会議・国際出張

=====◇PARI◇

1) 第33回海岸工学国際会議(ICCE2012)にて、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4517/1340793917.pdf>

2) 第22回国際沿岸極地工学会議(ISOPE-2012)にて、研究発表を行いました。

報告1 : <http://www.pari.go.jp/files/4516/1977798155.pdf>

報告2 : <http://www.pari.go.jp/files/4487/1138845108.pdf>

3) 第12回バルト海沿岸国地盤工学会議にて、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4514/2103591833.pdf>

4) 5th International Symposium on Contaminated Sedimentsにて、研究発表を行いました。

<http://www.pari.go.jp/files/4513/46915568.pdf>

◇PARI◇=====

6. 事務局からのお知らせ

=====◇PARI◇

- ◆本メールは、今まで港空研が主催した講演会や一般公開に参加し、メールアドレスを登録された方にお送りしております。
- ◆メールマガジン「PARI Club 通信」の配信登録、配信停止、およびメールマガジンに関するご意見、ご要望は、本メールに返信するか、以下のアドレスに送付ください。
「pariclub@ipc.pari.go.jp」
- ◆配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。